

## 30104鉄道軌道建設工事における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	3~4	鉄道保線基地線で、軌道碎石運搬用軌道専用モーターカーの運転業務を終え、基地線へ入庫し、運転台から降車しようと手摺を持った。前向きから後ろ向きに反転し、片足をデッキに乗せたときに足が滑り、その反動で手が離れ、地面（碎石部）へ転落して臀部を強打した。	54	1	232	10~ 29
2	2017	12	2~3	駅間上り線レール交換工事現場でトロ台車（1t積用）に、現場で撤去した資材を積み込み、置場へ3名で線路内を移動運搬中、線路内の横断側溝（巾42cm、深さ約1m）に気付かず、足を踏み外し、腰背部、左下腿部を挫傷し、全治2週間の診断を受けた。	49	2	418	50~ 99
3	2017	12	1~2	ロングレール交換を実施中に、レールに張力をかけて引っぱっていたところ、締結していた金具がはずれ、内側に移動し、作業していた本人の足に当たった。2名作業であり、引っぱっていた別の作業員も同時に被災した。	46	4	416	10~ 29
4	2017	12	15~16	当事業所内に於いて、車両の整理・道具などを降ろし、車のドアを閉めようとした際、左手がまだ車の縁にかかっているのに自分で勢いよく閉めてしまい、左手中指がドアに挟まり負傷した。	32	7	221	10~ 29
5	2017	12	14~15	事業所内に於いて、現場で使った枕木を車両の荷台から取り下ろす際、手が滑り、枕木が落下した。その時、右手の親指が枕木とトラックの荷台の間に挟まれ負傷した。	31	7	522	10~ 29

6	2017	11	2~3	夜間作業で駅構内にて支持杭打ち込み作業をしていた時に、打ち込み後に生じた空隙を充填するために山砂を一輪車に積み運搬していた。線路横断のために踏切ゴムを敷設していたが早く終えて後片付けの手伝いをしようと速く歩いたところ、一輪車が横揺れし、バランスを崩して転倒し、右足太ももをレールにぶつけ右肘を道床に打ち受傷した。	68	2	362	1~9
7	2017	10	1~2	ロングレール取替作業に従事するために線路内に立ち入ったが、上り貨物列車が接近してきた為、上り線線路脇に退避し、車両が通過するのを待っていた時、何らかの物体が飛ばし、右顔面に当たり負傷した。	48	4	529	10~ 29
8	2017	8	0~1	駅構内にて踏切内のレール交換中、受台に仮置きしたレールが、山越器を取り扱っていた作業員の左足踵に倒れ受傷した。	29	4	521	50~ 99
9	2017	7	11~12	当日監督者他4名建設作業員5名で鉄道沿線の伐採を草刈機を用いて行っていた。昼前に被災者が、肩から背中への攣りを訴えたのでとりあえず休憩させた。点滴を、受け、現在入院している。	41	11	715	1~9
10	2017	7	3~4	本社1階倉庫内において建設機械・工具の片付け、積み下ろしを2名で作業中重量物（レールベンダー約110kg）を移動させていた。重みでふらつき転倒した際、レールベンダーと地面に左手の人差し指を挟んだ。	61	2	417	10~ 29
11	2017	5	1~2	受傷者は持ち替えのため挿入後に一旦仮置きされたPC枕木のインシュレーターがレールと枕木間に落ちたためインシュレーターを取ろうとした際に再度持ち上げられたPC枕木とレール底部の間に左手親指を挟み受傷した。	31	7	149	30~ 49
12	2017	3	9~10	構内にて、レール整理の目的でレールの下に半マクラギの受け台を入れるため、レール吊り上げ器にてレールを吊り上げていたところ、吊り上げ器の設置箇所地盤が軟弱であった	24	6	361	50~



17	2017	2	9~10	工事現場で物置の吊りワイヤーを外して、物置から脚立で降りる時に前かがみで降りる時脚立が外側にふくらみ転落した。（脚立は6尺を使用して、ロックはしていない。）	54	1	371	—
18	2017	1	17~18	事業所敷地内でトラックから工具類の積み降ろしをしているとき、レールを荷台から降し、片付ける際、持っているレールと置く台の間に指を挟み受傷した。	43	4	521	10~29
19	2017	1	14~15	軌道内での保線作業中、休憩時に飲料水を買に行こうと線路内から出ようとして、高さ約2mの擁壁から下の道路へ飛び降りて着地した際、左足かかとを骨折し、右足かかとを打撲した。	44	3	417	—
20	2016	12	13~14	夜間作業用の機材を工事車両へ積み込む作業を行っていた。荷台の発電機の上に、隣の車両から工事用トロを移動して積み込もうとした際、トロの端部と発電機の間で左手をはさんで受傷した。	59	7	612	30~49
21	2016	12	10~11	PCマクラギをユニック付トラックに積み込み中、2段積みのPCマクラギ1本が突然小返り、PCマクラギを支えていた作業員の左人差し指が、1段目と2段目のPCマクラギとの間にはさまれ受傷した。	46	7	522	10~29
22	2016	11	2~3	改良工事施工中に伴い、サードレールを一時的に取り外す作業を実施していた。この作業ではトロ2台を使用し、20~30m前後に分割したサードレールを積み込み移動する手順で行っていた。被災者は、次のサードレールを積み込む準備をしようとしていた。その時、躓き、体勢が後ろ向きに倒れ、積んであったサードレールに触れた際、サードレールが横倒しになり、撓んだサードレールと道床に左足下部を挟み負傷した。	56	5	521	50~99
				線路内において受台上に取卸した長さ14m、重さ約840kgの4本のレールを配列するため一番手前のレールをテコにして				

23	2016	11	2～3	バールで3本目を幅寄せしようとした際、手前のレールがずれて受台から落下し、近くにいた被災労働者の右足首に当たり骨折した。	26	6	521	10～ 29
24	2016	11	4～5	作業終了後、ワゴン車の助手席に乗って戻る途中、国道交差点の左走行車線を直進中に対向車線で右折待ちをしていた大型トレーラーが右折を始め、避けようとしたが間に合わず、トレーラーの左後部とワゴン車左前方が衝突したため、右腓骨を骨折した。	49	17	231	30～ 49
25	2016	10	2～3	マクラギ交換作業中、同僚と2人でPCマクラギをレールの下に運び入れ、その後マクラギを定位置に納めるべく、前方に小移動させようと、マクラギにセットとしたトンボをレール側に押した所、右手をレールにぶつけて被災した。	38	3	521	10～ 29
26	2016	10	2～3	PCマクラギを小型移動式クレーン付きトラックの荷台に積み込む作業で、マクラギ吊り上げ用L字金具を、トラック荷台上で外し、積み込んだマクラギ上面を歩いて、トラック後部荷台から降りた際に、後端に積み込んだPCマクラギが落下し、左足関節部に当たり受傷した。	26	4	212	10～ 29
27	2016	10	9～ 10	獣害防止柵設置中、ブラアンカー打ち込み中に右手親指をマムシに噛まれた。	28	90	719	1～9
28	2016	9	4～5	踏切近くの線路内に上り7号柱にて架空電線の検相のため、上り7号柱に昇柱した受傷者は、ハシゴ上で胴網を掛けようとした際、バランスを崩し、支持物にぶら下がったのち地上へ約4mの高さから落下した。	31	1	371	50～ 99
29	2016	9	14～ 15	資材倉庫前で草刈機の点検作業を終え、所定の位置に格納したあと、報告業務をするため倉庫から事務所棟へ行く途中、未舗装部分の箇所ですり、バランスを崩して前方に転倒した際、左足の靭帯を負傷した。	39	2	417	30～ 49

30	2016	9	0～1	TC型軌道敷設工事の重機回送のため現場に集合し、現場点呼を実施。点呼終了後、軌陸バックホーのアタッチメント部への四頭タイタンバーからパケットに交換する作業を開始。パケットを取り付ける際、左手の人差し指をアタッチメント部とパケット間に挟み受傷した。	45	7	142	1～9
31	2016	8	10～11	線路脇の切取り法面付近で、刈払い後の集伐作業をしている時に、柳の木を切断しようと鉋を使用した際に、誤って自身の右下腿に刃があたり右下腿を切創した。	30	8	364	10～29
32	2016	7	11～12	道床碎石散布のため、碎石を鉄道工事用車両に積み込む作業をしていた。作業が終了したので、運転室から手すりを握ってステップを降りたが、左足が着地した際、碎石に足をとられ体勢を崩し転倒。	45	1	232	1～9
33	2016	7	2～3	構内でレール交換作業中、山越器で吊り上げた新レールを砂利肩に卸そうとレール小口を中腰で持ち上げた際、腰に痛みを感じた。	58	19	612	50～99
34	2016	6	1～2	鉄道軌道工事のむら直し作業において、保守用車が通過接近のため車に積んであった発電機をトンネル壁側から中央通路へ移動しようとした際、発電機の重さにより、軌間内でバランスを崩し後方へ転倒した。その際、右腕を脱線防止ガードに強打し受傷した。	34	2	229	10～29
35	2016	6	14～15	竣工検査終了後、事務所へ戻る途中、県道を走行中に後続車両に追い越される際、衝突された。	57	17	231	10～29
36	2016	6	9～10	高架上に地組した鋼桁上で塗装作業のため桁上を移動中、作業に使用する為に段取した電工ドラムに躓き転倒して、桁の端部から約2.5m落下して被災した。	69	1	418	10～29
37	2016	6	11～	倉庫の解体工事のため、倉庫の屋根に上がり、屋根のスレート瓦を取り外す作業中、安全確保用ロープの範囲外に動く必要があったので、一旦安全帯のフックをロープから外して横	44	1	414	1～9

			12	へ移動した時に、うっかり歩み板から外れた位置に足を置いてしまい、屋根を踏み抜き落下し負傷した。				
38	2016	4	6～7	夜勤作業より帰って来た際に、事務所車庫前で軽トラック荷台に積載してある作業用車両をおろす時に胸を打った。	69	6	221	10～ 29
39	2016	4	10～ 11	事務所2階のトイレを出た時に廊下が濡れていたため、左足が滑る。咄嗟に左足を踏んばるも体を右に捻るような状態で転倒した。	53	2	417	1～9
40	2016	4	9～ 10	作業所の倉庫にて器材の整理をしていたところ、プラスチックコンテナを持ち上げようとした際に腰に激痛が走り負傷した。	36	19	611	30～ 49
41	2016	4	10～ 11	盛土耐震補強工事の線路防護柵設置に伴う材料荷卸作業中、ユニック車の荷台から資材を取卸す際、ブームの向きを変更する為、ユニック車のエンジンを運転席に乗車せず外からかけたところ、ギアがバックに入っていたため、ユニック車が後進した。その際、後ろにいた作業員に衝突し受傷した。	71	6	221	10～ 29
42	2016	4	2～3	トンネル内の下り線で、発生レールを鉄トロに積込む作業に従事中、鉄トロの上でレールの位置調整を行っていたとき、足に力を入れた瞬間に足を滑らせ、体勢を崩し転落しそうになったので中央通路に飛び降りた際、受傷した。	49	3	417	100～ 299
43	2016	1	4～5	走行中、停車中の大型トラックに追突した。	39	17	221	10～ 29
44	2016	1	4～5	走行中、停車中の大型トラックに追突した。	48	17	221	10～ 29
45	2016	1	4～5	走行中、停車中の大型トラックに追突した。	48	17	221	10～ 29
46	2016	1	4～5	走行中、停車中の大型トラックに追突した。	46	17	221	10～ 29

47	2015	12	14～ 15	留置線新設に伴う踏切撤去による道路移設で、下水管を新設し埋戻し後、覆工板の撤去を行っていた。受桁の上に置かれていた覆工ずれ止め用のH型鋼を搬出しやすいように、他の作業員が移動させた際、受桁の上から転げ落ち、被災者の左足甲上に落下し、被災した。	70	4	521	1～9
48	2015	11	2～3	倉庫整理のため器具類を移動する作業中、トラックに積んだ器具をトラックの荷台から両手で抱き上げようとしたとき、トラックの後板と器具との間に左手人差し指が挟まり負傷した。	32	7	611	10～ 29
49	2015	11	22～ 23	現場へ向かう途中に、道路脇にある交通情報システムの柱に衝突した。	36	17	221	10～ 29
50	2015	10	11～ 12	レール溶接作業の軌道工事管理者として従事していた。レール送り出しのため盛土にあるレール誘導器を取りに行こうと、レール置場からマクラギサンドルに降りようとした時、右足を踏み外した。	59	1	521	10～ 29
51	2015	10	3～4	軌道工事管理者他13名で、通り整正の準備作業で施工基面にタルキの基準杭を2人で打っていた際、タルキが傾いて来たので押えていた被災者が直そうとした時に、右手人差し指がタルキの上に行き振降されたカケヤが当り受傷した。	40	7	364	30～ 49
52	2015	10	23～ 24	重機械によるPCマクラギ化工事のため、軌道工事管理者から指示を受け誘導員（被災者）は、重機運転者に重機置場から踏切の手前まで移動中、誘導員が重機の手前で手袋を落としたため、重機運転者に声で停止合図を行い、重機が停止したので手袋を拾おうとした際、重機が移動して重機のクローラーに左足親指の甲付近を踏まれ受傷した。	26	7	149	30～ 49
53	2015	9	14～	高圧ガスボンベ置場前にて、ワゴン車後部荷台に2段に横積したアセチレンボンベ（約45kg）を、車外へ降ろす作業を行った。上段の容器を車外から左右2名で荷台から引っ張り	38	4	319	10～



			15	出そうとした際に、勢い余って容器が下段より荷台へ落下。容器と荷台との間に、添えていた左手指を挟まれ受傷した。				29
54	2015	9	0～1	マクラギを抱きかかえるように持ち、3名で線路内に押すようにしてレールの上へのせる際に、古マクラギについていたレール取付用金具部分が右腿裏部分に当たり、その衝撃でレールに右膝を打ち付けた。	28	3	522	10～ 29
55	2015	7	15～ 16	トラックに荷物を積み、荷台から跳び降りたときに、左足首を挫いた。	44	1	221	10～ 29
56	2015	7	0～1	がいし取替作業において、がいしを持って移動する際に、入口付近で濡れている滑りやすくなっている木枕木にて足を滑らせて転倒した。	43	2	418	30～ 49
57	2015	7	1～2	レール溶接工事中、溶接前の防火対策のため、周囲に散水を行っていた。移動しようとしてレールの受台に乗ったところ、受台の安定が悪かったために、受台ごと崩れ、レールが右足ふくらはぎ付近に落ちて負傷した。	55	5	419	1～9
58	2015	7	0～1	線路レール交換作業中、交換レールを寄せる動作中に、側に仮置きしてあったレールが転倒し、当人の右足甲を受傷した。	63	6	521	10～ 29
59	2015	7	5～6	縦目マクラギ交換作業を行っていた際、ヤブ蚊に刺され、後日腫れと痛みがひどくなった。	36	90	719	10～ 29
60	2015	6	7～8	追い越し車線を直進走行中、バイパスから進入してきた車がそのまま追い越し車線にまで進路をとってきた事から、直前に割り込まれてぶつかると思い左にハンドルを切った所、方向性を失い走行車線側の側壁に衝突し、追い越し車線上に停止した。	44	17	231	1～9
61	2015	6	22～ 23	レール遊間整正作業現場に向うため駐車場より国道に右折して出る時、直進してきたトラックと衝突し打撲した。	57	17	231	50～ 99



70	2015	2	3～4	<p>駅構内で、交換するために仮置きしてある分岐器の上に大型山越器を乗せる作業を行っていた。その際被災者は分岐器と大型山越器の間に右手を挟まれて受傷した。</p>	63	7	612	10～ 29
71	2015	2	2～3	<p>走行中に路面が凍結していたためスリップし、歩道にたっている電柱に衝突した際に受傷した。その際、被災者は後部座席に座っていた。</p>	47	17	231	10～ 29
72	2015	1	4～5	<p>駅構内にてPCマクラギ交換作業中吊りワイヤーがゆるんだように見えた時にタイタンパーが橋脚方に少し傾きかけたので咄嗟にタイタンパーを左手で押さえようと、手を出し橋脚とタイタンパーの間に左手人差し指を挟まれ受傷した。</p>	40	7	149	1～9
73	2015	1	9～ 10	<p>受傷者は、駅構内でレール取卸機の向きを右積み用から左積み用に替える作業に従事していた。3両のうち2両の交換作業を終え3両目の支柱を浮かせローラーにて回転具合の確認をしようとした際、アーム取付け部のロックピンの装着を失念したまま支柱を回転させてしまい、アームが反動で大振れし、バランスを崩し受傷者側に転倒して地面との間で体を挟まれた。</p>	37	7	219	10～ 29
74	2014	12	9～ 10	<p>新線線路内マクラギ上、レールガス圧接用の準備作業中、レールを吊り上げ器で吊り上げ、半コロの上にローラーを挿入、レールと吊り上げ器が転倒し、マクラギとレールの間に右足を挟まれ、骨折した。</p>	38	7	219	1～9
75	2014	12	20～ 21	<p>敷地内機材置場にて機材整理中、鉄製の油圧矯正治具（約30kg）を移動させようと持ち上げた際、手が滑り落下、治具が右足安全靴甲上にあたり負傷した。</p>	55	4	521	1～9
76	2014	12	1～2	<p>指揮者ほか2名で夜間にレール継目部のレールフロー削正でディスクグランダーを使用して行っていた。上り方レールの削正を行うために体位を入れ替えた際、手に持っていたディスクグランダーの回転していた刃と右膝内側が接触して負傷</p>	23	8	153	10～ 29

				した。				
77	2014	12	22～ 23	鉄道駅間の軌道線補修工事の現場に向かう途中橋に差し掛かった時凍結路面によりハンドルをとられ車両が滑り道路の左側の田んぼに突っ込んで受傷した。	66	17	231	30～ 49
78	2014	12	21～ 22	国道で鉄道枕木交換に従事のため軽貨物自動車以南進中に橋梁上でスリップし北進中の対向車（大型トラック）と衝突した。後続の一般車両が警察、消防へ手配をし救急車で病院に搬送された。	55	17	231	10～ 29
79	2014	11	20～ 21	まくらぎ交換作業中、交換まくらぎと堆積物集積用まくらぎを固定しているボルトがサビ等によりナットが弛まず、ディスクグラインダーでボルトの切断を始めた。切断作業は急こう配と鋼索ロープにより足元が狭く、堆積物集積用まくらぎ下部のため切断箇所も目視できないまま進めていた時、突然グラインダーがキックバックし、被災者の左ふくらはぎに当たった。	31	8	153	10～ 29
80	2014	11	0～1	駅構内で分電盤補修作業中、検査が終了し吊り上げていたレールを降ろしている際に斜めに傾いているボルトに気が付き直そうとしてレール下に手を入れた。その時にレールが下がりに床板との間に右手中枢を挟まれ受傷した。	28	7	361	100～ 299
81	2014	11	14～ 15	高架橋基礎掘削部の山留架設中、ブラケット上に仮置きした復起し位置の微調整を行っている時に（手元作業員がミニバックホウで引っ張ると勘違いし、バケットにワイヤーを掛けていたのに気付かず）被災者が重機オペレーターに中央部を押すよう合図を行ったところ、旋回した際に腹起しが引っばられたためブラケットからはずれ約1.3m落下し被災者の左足に接触した。	41	4	142	1～9
			13～	会社の1階と2階の間のトタン屋根を張り替え作業中に、ベニヤ板を敷いて作業をしていたが、ベニヤを持って来てと頼				30～

82	2014	10	14	まれ途中に骨組がないところを踏み抜き、下へ落下し足から落ち背中を負傷した。	26	1	415	49
83	2014	9	13～ 14	線路補修に係るマクラ木交換作業中に、トラックよりマクラ木を搬送しようとした際、保持していた手が滑り、マクラ木が左足甲部に落下し負傷した。	32	4	522	10～ 29
84	2014	9	0～1	踏切敷板交換作業中に、破線したレール（25m2本）を約50cmの間隔で左側踏切敷外コンクリート部に仮置きした状態の上に、軌陸BHにて踏切内の撤去枕木（並枕木縦目用）を一時載せようとした際に、レールが小返り、左足甲部を受傷した。	35	6	419	10～ 29
85	2014	8	10～ 11	駅構内発生機置き場に於いて、4tユニックより発生機を降ろす作業中、ユニックの荷台から地面に着地した際、腰に違和感を感じ、その後痛みが出て受診した。	23	3	212	50～ 99
86	2014	7	5～6	駅構内の作業を終了し、クレーン（3t）付トラックで事業所へ帰班のためバイパスを走行中、単独で道路下3～5mに転落し、死亡した。	56	17	212	10～ 29
87	2014	6	16～ 17	鉄製トコの車止めを作成する為、角材を三角形に切断していた。最初は手ノコを用いて切断していたが、その後電動丸鋸を使用して作成していた。その際急に電動丸鋸が右足に跳ね返り、右足親指を負傷した。	20	8	131	10～ 29
88	2014	5	17～ 18	作業現場法面上でバックホーを操縦し、ダンプトラックに土砂を積込み作業中、バックホーがバランスを崩し、胸部、頭部を強打、負傷した。	65	2	142	30～ 49
89	2014	5	1～2	鉄道レール検修作業の移動中に運転していたスクーターのバランスを崩し、体勢を立て直そうとした際、左足膝に違和感を感じた。	55	19	231	10～ 29
				棲土留部において、作業員2人が電動式の探針ドリルで探針				

90	2014	4	13～ 14	作業を行っていた。地中に差し込んだ探針棒を引き抜く際、作業員（被災者）がドリルを回転させながら探針棒に手を添えて抜こうとした時、作業員の右手が巻き込まれ被災した。	61	7	142	1～9
91	2014	3	23～ 24	鉄道のPCまくらぎ更換作業に従事するためマイクロバスで現場に向かった。バスは鉄道高架下に駐車し、被災者は最後に降車し雨合羽を整えていたところに、バス運転手が施錠にきたので場所を譲ろうとした際、足を踏み外し約2.7m下の木路へ墜落し受傷した。	47	1	416	30～ 49
92	2014	3	9～ 10	8時より上り線作業ヤードにて5名により11tユニック車で鋼管杭（φ400mm/m、L=4.0m）の荷降ろし作業を行っていた。9時頃11tユニック車で2本ずつ荷降ろしするため、玉掛（被災）者が鋼管杭にフック付吊りチェーンを掛けた際、合図がないのに大丈夫と思って運転手が巻きあげたため、左の鋼管杭がスライドし、右の鋼管杭を押さえていた親指を被災した。	24	7	212	1～9
93	2014	2	10～ 11	土砂擁壁新設工事において擁壁の補修作業で、終点に向けて移動しながら作業をしていたところ、水路コンクリート（幅400mm×深さ1000mm）に左足を踏み外して転倒し、右膝及び左側胸部を水路コンクリート天端部に強打し被災した。	60	2	417	30～ 49
94	2014	1	12～ 13	駅構内においてレール交換作業を施工中、犬クギを抜く際、バハンマを持ち別の作業員がハンマーでバハンマを打ったところ、バハンマの一部（鉄片）が目に入り受傷した。	23	4	364	-
95	2014	1	2～3	駅構内送着ボンド増強工事でレールボンド交換工事のため、レール研磨中にレール締結ボルトに研磨機が触れ、弾かれた瞬間に右手が離れてしまい、反動で戻った研磨機で右手人差し指を8針縫う事故が発生した。	43	8	153	10～ 29
				トラフ新設作業に伴い切り株の除去作業を3名で行ってい				

96	2014	1	15～ 16	た。作業員はノコギリを使用して木の根を切断していたが、別の作業員がツルハシで木の根を起こしていた際、ツルハシが外れ、反動でツルハシが被災者の額に当たり受傷し、一瞬意識がもうろうとなった。	44	6	364	10000 ～
97	2013	12	19～ 20	高速道路のジャンクションにて、車が横転。足を骨折、腕を負傷した（営業車両には複数名が乗車していた）。	19	17	231	10～ 29
98	2013	12	19～ 20	高速道路のジャンクションにて、車が横転。足を骨折、腕を負傷した（営業車両には複数名が乗車していた）。	26	17	231	10～ 29
99	2013	12	15～ 16	トラックの荷台に60kgのエンジンを2人で積み込む作業中、かけ声が合わず、エンジンと荷台の間に手を挟み、薬指を剥離骨折した。	38	7	611	10～ 29
100	2013	12	3～4	交差点にて青信号を確認し、右折した際、後続の2台目の普通自動車は反対車線から追い越しをかけ、被災車両右後部に衝突した。	42	17	231	30～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。